

HYBRID FORM

ハイブリッドフォーム

木造住宅を快適でECOなハイブリッドに！
省エネ住宅の強い味方です。



《施工範囲》



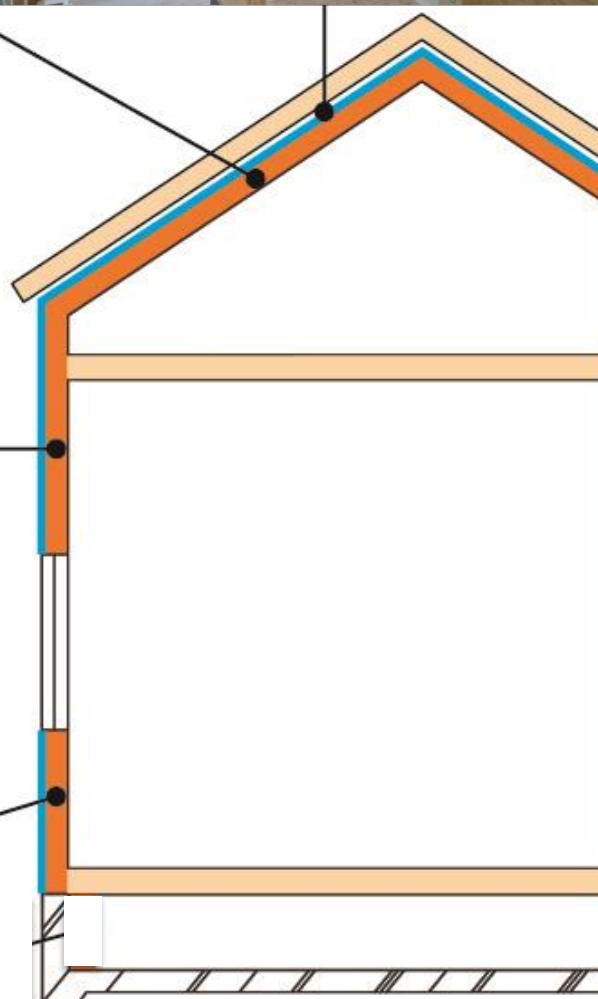
屋根 ハイブリッドフォーム75mm



外壁 ハイブリッドフォーム75mm



土台 ハイブリッドフォーム75mm
土台周り

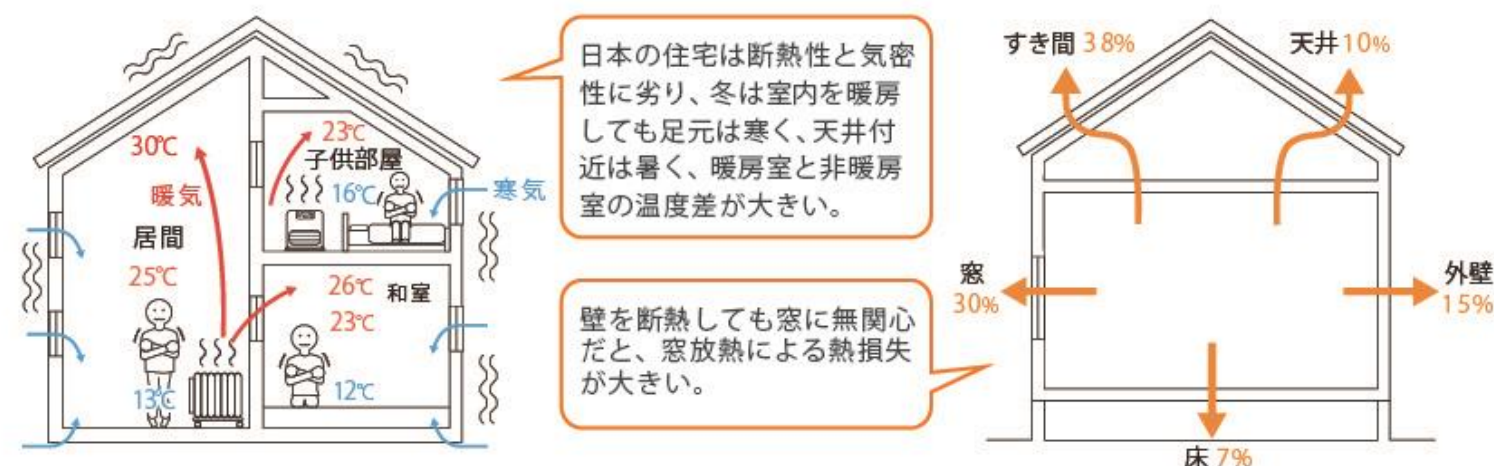


ハイブリッドフォームの大きな特徴

断熱性、気密性に優れるため、より快適でより省エネルギーな住生活に貢献致します。

- ✓ 人と地球にやさしい断熱材です。
オゾン層破壊や地球温暖化の原因となるフロンガスを全く使用しないことでCO₂の削減になります。
 - ✓ 安心、安全。
アレルギーの原因となるホルムアルデヒドの発生ナシ。
 - ✓ 夏は涼しく、冬は暖かく。
高気密・高断熱で冷暖房費が節約できます。
 - ✓ 自己接着力により経年変化も安心。
柱や梁等木材の経年変化にも追従しやすく長年に渡って断熱性、気密性を維持いたします。
- 断熱施工に隙間を作らない為、壁内結露も抑制ができ、木造住宅の高寿命化に貢献いたします。

断熱性・気密性の悪い例



Q&A よくある質問にお答えします。

- Q. 経年による劣化は大丈夫ですか？
A. ハイブリッドフォームは自己接着力があるため、湿気を吸い込んで下がったりする心配がありません。また、フォームが連続気泡で中身が空気のため、断熱のガスが抜けてしまうことによる性能低下もありません。よって経年変化に強い断熱材と言えます。
- Q. 火事が起こったら燃えてしまうのでは？
A. 成分に難燃剤を配合しており、燃えにくくしております。在来工法においては45分の準耐火構造を取得しております。

ヒートショックの危険

DATA



4100人

交通事故死亡者

<



17000人

ヒートショック死亡者

冬場の脱衣所で着替えをする時浴槽に入ったときの急激な温度変化などで血圧が乱高下し、特に高齢の方は心臓麻痺(ヒートショック)を起こしてしまうことがあります。

しっかりと断熱施工は部屋との温度差を減らし、ヒートショックになりにくい環境をつくれます！